

研修題目 大学の地域連携における大学図書館の役割

2010年5月28日

学術企画部学術情報課

黒澤泰男

## 1. 目的

スウェーデン王国の大学の地域連携における大学図書館の役割について学ぶことによって、地域連携における本学図書館の今後を考えたい。

本学は、地域連携を、教育、研究に次ぐその活動の柱と位置付けてきた。附属の施設である図書館においても、地域住民への図書館公開にとどまらず、茨城県立図書館との資料相互貸借や、公開講座の実施、展示スペースにおける学内研究成果の公開など活発に取り組んでいる。また、平成20年度には、教員地域連携プロジェクトとして水戸の城下町マップの作成を行った。

本学図書館で行っている地域連携をさらに深めていくためには、大学の地域連携において、大学図書館が果たすべき役割を改めて考える必要がある。その際、他国の事情を知ることが新たな視点から現状を捉えることになると期待できる。

そこで、スウェーデン王国において地域との連携に熱心な大学の地域連携における大学図書館の役割を知り、地域連携における本学図書館の今後を考える材料とすることが今回の目的である。

## 2. 調査の概要

調査対象：Mid Sweden University (Mittuniversitetet)の大学図書館3館中2館

(ハーネーサンド<sup>1</sup>総合図書館及びスンツバル (Sundsvall)・キャンパスの大学図書館)

期間：平成22年2月14日(日)から平成22年2月20日(土)

---

<sup>1</sup> Härnösand の読み。旅行計画書や日程表、旅行報告書等では「ヘルネサンド」と記したが、現地での発音及び既存文献での表記にならい、ハーネーサンドと表記することとした。

(調査は 15 日 (月) から 18 日 (木) で行い、前後は移動日)

調査方法：教職員へのインタビュー

### 3. 調査結果

#### 3-1. Mid Sweden University

Mid Sweden University は、その名の通り、スウェーデン王国の中部に位置する大学である。キャンパスは、ハーネーサンド、スンツバル、オストショーン (Östersund) の 3 都市に置かれている。

学生数は 2009 年時点で約 1 万 7 千名である。

#### 3-2. ハーネーサンド総合図書館

ハーネーサンド総合図書館は、県図書館、コミューン<sup>2</sup>図書館、そして Mid Sweden University のハーネーサンド・キャンパスの大学図書館の 3 者が共同で運営している。2000 年に Mid Sweden University のハーネーサンド・キャンパスの土地に、新しい建物を造り、開館した。各図書館はそれぞれが独自の予算、スタッフ、資料、サービス対象とする利用者層等を持つ、独立した組織である。

しかし、利用者に対しては、「1 つの図書館」であると思ってもらえるよう、余計な負担を強いることのないよう努めている。具体例としては、どの図書館が購入した資料でも、全て同じ棚に並べ、同じように貸し出しもできることや、1 つのシステムで全ての資料を検索できるようにしていること、同一時間での開館等が挙げられた。

また、各図書館の代表者が集う House Council という会議の他に、月に一度、全てのスタッフが参加するミーティングを行っている。業務を通じてだけでなく、ミーティングを通じて、意識の共有に努めている。

Learning Centre Origo は、コミューンと大学の協力によって、ハーネーサンド総合図書館内に開設された。成人 (職業・キャリア) 教育を目的とし、コーディネーターやカウンセラーが常駐し、相談に乗る。

#### 3-3. 他キャンパスの大学図書館

スンツバルにある大学図書館では、近くに研究所を持つ SCA (スウェーデンの製紙企業)

---

<sup>2</sup> 基礎的な地方自治体。日本のように市町村の区別はない。

に対して、専門の職員を置き、資料の提供やデータベースの検索などを提供している。

オストショーにある大学図書館では、近くにある Swedish National Institute of Public Health に資料の提供などで協力している。

### 3-4. 大学と地域連携

大学全体に関することについては、Vice Rector を務めた Professor Christer Fröjdh から伺った。彼によれば、大学は「地域のイノベーションシステムの一部として、地域の産業に貢献する」方針を持っている。しかしながら、具体的な地域との連携活動については、大学内の個々の組織や研究グループが決めている。

### 3-5. 大学図書館として

Director of Libraries を務める Mr. Morgan Palmqvist によれば、ハーネーサンド総合図書館が大学図書館、県図書館、コミューン図書館の 3 者が共同で運営していることを、他のキャンパスにいる学生や教職員はあまり意識していないだろうと言う。また、大学関係者にとって、大学図書館は大学の図書館である（それ以外の何物でもない）、と思っているだろうと言う。

## 4. 考察

図書館という施設を県やコミューンと共同で運営しているという点で、地域との連携では深い位置にある Mid Sweden University においても、具体的な連携活動については、大学内の個々の組織に委ねていた。

つまり、本研修の目的で述べた「大学の地域連携における大学図書館の役割」について、Mid Sweden University は、特別な役割を大学図書館に設定してはいなかった。

Mid Sweden University 及びスウェーデン王国においては、大学の図書館は地域に向けても開かれている。しかし、当該大学にとっては、第一に大学の図書館であり、大学図書館としての機能を求めている。

地域と共同して運営しているハーネーサンド総合図書館の運営においては、利用者である住民や学生に、「1つの図書館」であると思ってもらえるよう努めていた。地域との連携は当たり前のこととしつつ、専門的なサービスを提供する姿勢に、今後の指針を見た思いがした。

大学図書館における地域連携が当たり前のことになった時こそ、大学図書館の専門性が試されるのではないだろうか。茨城大学の図書館として、よりよい資料やサービスを提供するよう努めることは、地域連携における長所を伸ばすことにつながり、地域との連携をさらに深めていくためにも重要と考えられる。

## 5. 謝辞

この度の研修にあたりお世話になりました茨城大学、Mid Sweden University 双方の皆様、深く御礼申し上げます。年度末の忙しい時期に快く送り出して下さいました職場の皆様、不慣れな書類作成にお付き合い下さいました皆様、誠にありがとうございました。忙しい中、スウェーデン語を解しない筆者のために、英語で対応して下さいました Mid Sweden University の皆様、大変感謝しております。